

高瀬溪谷

大町ダムと七倉・葛温泉
七倉山荘版



七倉ダムとその周辺
七倉ダムは自然の石積みのロックフィルダムです。高さは125m、ダム体積738万㎡で、高瀬ダムと同じく1971年工事に着工、1979年に竣工。一般車終点の七倉駐車場周辺の新緑、紅葉も素晴らしい。また、紅葉とコバルトブルーの湖水との共演も楽しめます。また、七倉は船達岳や北葛岳方面への登山基地です。

七倉・高瀬ダム間は、特定のタクシーで行くことができます。
タクシーで約15分 片道1台 2100円 徒歩で約1時間30分

七倉温泉 七倉山荘
日帰り入浴600円、ご宿泊もできます
<http://www.webmarunaka.com/nanakura/>
0261-22-4006

龍神湖からのパノラマ
龍神湖から望む山々は四季折々に素晴らしく、餓鬼岳から北葛岳までパノラマが広がります。奥には白銀に光る三ツ岳や野口五郎岳も見られます。真冬のキーンと澄んだ空気で見える風景は特に素敵です。また東側を見ると、大町市街を眼下に見下ろし、右から南鷹狩山、鷹狩山、霊松寺山の山並みが見られます。これらの山並みは、南鷹狩山を頭と見立て、鷹狩山を胴、霊松寺山を足として、仏の涅槃に例えられます。夜は夜景もおおすすめです。

大町ダム展望広場
大型バスはここへ。

北葛沢の紅葉
県道槍ヶ岳線、高瀬トンネル手前右手の北葛沢の紅葉は一見の価値あり。時期になると写真愛好家が狙うポイントになります。

金沢広場と金沢の滝
県道槍ヶ岳線、高瀬トンネルを抜けると、すぐ右側に金沢の滝があり、新緑、紅葉の時期には立ち寄りやすい所です。また、左側を少し下ったところに金沢広場があります。金沢広場には、駐車場と車イス用を含むお手洗いがあります。

これより奥、冬期通行止め

葛温泉
葛温泉はとても湯量の豊富な温泉で、300年余も前の開湯といわれ、飢饉のときに人々が葛の根を堀に溪谷へ分け入り、見つけたことが葛温泉の名の由来だといわれています。現在3軒温泉があり、それぞれ日帰り入浴も出来ます。また、葛温泉から七倉にかけては、新緑・紅葉の見所です。

仙人岩
葛温泉仙人閣近くに仙人岩があります。これは30メートル四方で高さ10メートルを超える巨岩で、下が広い空間になっています。この付近には岩盤がないので、上流から流されてきたと考えられ、こんな巨岩が流されるほどに高瀬川は暴れ川だったのです。「仙人岩」の標柱の手前の獣道のような道を辿っていくと、まるでジュラシックパークへ迷い込んだような気がしますよ。

大町エネルギー博物館
エネルギーや科学の基礎について楽しみながら学べる博物館。土日祝祭日には科学体験工作教室を開催しているので、親子で工作にチャレンジしてみても。手作りお土産コーナーも充実。屋外遊具や天然温泉の足湯も楽しめます。

湯道の石仏群
1846年、野口村庄屋の西沢家は、「馬返し」と呼ばれた現在のエネルギー博物館付近から葛温泉まで、道中安全祈願と道案内のため、百体を超す観音石道を造立しました。ダム建設のために移設され、そのうち27体がエネルギー博物館の敷地内に集められています。

龍川二本松（夫婦松）
高瀬川との合流に近い龍川の中州に、近くの人々が「牛馬岩」と呼ぶ岩があり、その上に寄り添うように並んだ二本松。川霧から浮かびあがる姿は幻想的です。

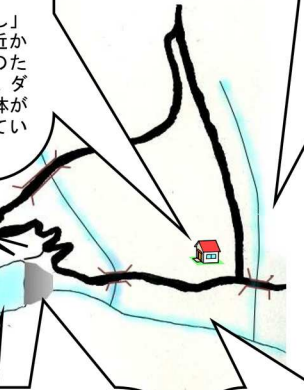
大町ダム
大町ダムは信濃川水系高瀬川に位置し、1969年8月に発生した大洪水を契機に計画されました。主に洪水調節を目的として建設され1986年に完成した多目的ダムです。ダム湖は、泉小太郎伝説にちなんで龍神湖と名付けられました。

龍神湖散策コース
龍神湖右岸には遊歩道があり、5月のシャクナゲやヤマツツジ、6月のフジやガマズミの時期、新緑、紅葉の時期などが特に素晴らしく、二の沢まで約1.5km。往復約1時間（一の沢まで約1km）の静かな湖畔の散策が楽しめます。歩いているとナラの仲間やハウチワカエデ、エゾユズリハ、オオバクロモジなどの樹木があり、季節によってイワヒバリやヤマセミなどの声が聞かれます。

鎌ノ峰のタムシバと前越平
鎌ノ峰北面一帯は、5月上旬、タムシバの花で白く染まり、それは見事な眺めです。また、標高1,200メートルほどの前越平からの唐沢岳の眺めも素晴らしいですよ。

高瀬川
槍ヶ岳に源を発する高瀬川は、春の新緑、秋の紅葉の時期など、素晴らしい渓谷美を誇り、秘湯・湯俣温泉、葛温泉などもあって多くの観光客を集めます。高瀬川は下流で犀川に合流し、信濃川となって、日本最大の川の一部をなします。

高瀬川の水の色
高瀬川の水の色は見事なエメラルドですが、高瀬溪谷に分布する花崗岩が風化して崩れ、そこに含まれる長石の結晶が粘土化したものと、上流から流れてくる硫黄の粒子が混ざりあって、あの美しい水の色を作り出しているといわれています。



高瀬入

